

## 1 平成26年度外部評価の総括

平成26年度の外部評価については、ヒアリング評価により8施策の評価を実施したところです。

なお、限られた時間の中で評価するのは困難なことではありましたが、その中で可能な範囲で評価を行いましたので、ご理解くださいますようお願いいたします。

### (1) 外部評価報告書における外部評価シートの掲載方法について

各施策の判断理由、コメント欄(今後の施策運用に関する改善策、その他意見等)への各委員からの意見をそのまま掲載しています。

また、施策評価に係る外部評価シート(P5~P35)の各評価項目の判断区分A~Cの評価は、一つにまとめず、各委員が判断したA~Cの評価人数を掲載しています。

なお、各評価項目における色塗り箇所は、「評価項目」において、委員6名のうち最も多い「判断」を表しています。

### (2) 内部評価における改善点について

- ① 1つの施策に対して、事務事業が1つだけの構成となっており、施策に対しての事務事業のくくりが大きすぎるといったものが散見されたので、施策内の事務事業構成の再検討、再構築が必要と考えます。
- ② 施策の主な取り組みを意識した事務事業構成となっていない印象を受けました。事務事業ありきの発想ではなく、施策の目的、主な取り組みを意識した事務事業の実施が必要と考えます。
- ③ 施策の指標における成果(主な指標)が適切でない施策が多く見受けられました。施策の進捗状況を正確に判断、把握するためにも、第4次総合振興計画後期基本計画の策定の際には、施策の指標における成果(主な指標)の十分な検討を行い、適切な評価指標を設定する必要があると考えます。
- ④ 事務事業の実施にあたって、費用対効果への意識が薄い印象を受けました。事業実施に係る費用と得られる効果を常に意識することが必要です。

特に、事前評価の段階で費用便益分析等を行う必要があります。

- ※ 費用便益分析…事業に要する費用及びその事業から得られる効果（便益）を貨幣価値に換算し、その算定結果によって、事業実施の可否、事業規模を決定する方法

### （３）外部評価の活用について

戸田市では、施策評価に加え、事務事業評価を行っています。さらに、これら内部評価にとどまらず、「施策」に焦点を当てた外部評価を実施しています。内部評価で施策を評価する際、事務事業に優先度を付け、外部評価でそれら事務事業の妥当性を評価するなど、先進的な取組を行っていると考えます。

また、今年度の外部評価では、ヒアリングを自ら望む部局があったと伺いました。このことは、情報公開や施策を推進するための機会として、外部評価を前向きに活用することへの意識の芽生えであると感じます。

今後においても、外部評価制度へ継続的に取組むとともに、適正に行政評価のできる人材の育成と外部評価ヒアリングが施策の推進に寄与する前向きな機会であるものとして、有効活用に努めていただきたいと考えております。

外部評価の更なる発展、充実のため、戸田市外部評価の今後に向けて、平成26年度戸田市外部評価委員会として、以下、2点の改善策を提案します。

- ・ 外部評価は、評価を受けて終わるのではなく、行政サービスに活用することが重要で、外部評価の意見を効果的に行政運営に反映できるよう、更なる体制の充実を提案します
- ・ 各所属で所属する委員会と外部評価委員会の位置づけを整理し、戸田市外部評価委員会に何を求めているのか、明確にすることを提案します。

戸田市の外部評価は、平成20年度から試行実施され、今年度で6年目となりました。これまで、試行錯誤を重ね、制度として一定の構築が図られたと考えます。このことから、機会をとらえ、本実施に移行しても良い時期ではないでしょうか。

最後に、今後も外部評価委員会の意見を活用し、業務の有効性、効率性の向上を図り、成果を高めていただきたいと思います。

平成27年1月14日（水） 戸田市外部評価委員会